

EverGreen

エバーグリーン

特集

始めよう!定年農業

3

2016
vol.265





今月の表紙

～今月号の表紙より、第4回フォトコンテスト（27年度）の入選作品を、講評、撮影者のコメントとともに毎月お届けします～



第4回フォトコンテスト入選作品

褒賞：優秀賞

タイトル：一休み

撮影者：田尻 光雄

撮影場所：若穂川田

講評：二人の会話が聞こえてきそうな、深い絆・ドラマ性を感じる作品。構図をもう少し考慮するとさらに良いでしょう。

撮影者の
コメント

こだわりポイント&
苦労した点を教えてください！

ちょうど農作業が始まり、苗代の作業をするところを通りがかりに撮らせていただきました。写真を撮り終え、帰るところ、ふと振り返ると、後ろ姿がとても仲睦まじい素敵な光景に見え、思わず撮影させていただいた一枚です。

大変だけど、やりがいがあるよ。

青木島 島田 英明さん

農業組合法人シマダの跡継ぎとして

て、きこの栽培に取り組む島田英明さんは33歳。就農8年目を迎えます。従業員14人の工場長として、「ぶなしめじ」などの栽培現場管理をはじめ、営業、企画、配達・納品、事務、人事管理までさまざまな業務を担当。日置おおよそ5,000パックを年間を通して出荷するなど、忙

しい毎日を送っています。

「小さい頃から手伝いはしてきて（きこの栽培は）、もう生活の一部だった」という英明さんは、26歳の若さで家業に入り、即戦力としてぶなしめじ栽培の現場に関わりつつ、「どあるきのこ」の栽培を任せられます。それは、「ササクレヒトヨタケ」という名前の、白く帽子をかぶった

ような外観が特徴のきのこ。同法人

では、商品名「コブリーヌ」として20年近く前から販売し、英明さんは「コブちゃん」と親しみを込めて呼んでいます。英明さんはこのコブちゃんの栽培工程から、営業、販売の全ての業務を担当し、最近では、A・コープファーマーズ南長野店直売所にも出荷を始めています。

この、ササクレヒトヨタケは、主

力のぶなしめじとは栽培温度・湿度が違うこともあり、工場内の限られたスペースの中で最大限つくれる量を栽培しています。ただ、英明さん曰く、このきのこは「きのこになっって出てこないきのこ」なのだそう。全国でも栽培されていること自体が珍しく、栽培技術も発展途上の

Contents

GreenSpot人	2
Monthly News 3年間の成果を報告 ～地区懇談会開催～	4
◎特集 始めよう！定年農業	8
主役はアナタ！！	12
地産地消料理	13
グリーンコネクタからこんにちは！	14
今月のAgri Work	16
From JA Green Nagano	17



▲芽が出てきたササクレヒトヨタケ「コブリース」を持って笑顔を見せる英明さん

段階。工夫を重ねるものの、担当した当時からつい数年前まで「出るとき」「出ないとき」が交互に繰り返されるような、不安定な状況が続いていました。「ちよっと出てきたと思って営業をかけるんだけど、営業をかけた割には出てこなくて、量がとれない…。知名度が無い中で、つくるのも大変だし、営業も大変だし、営業した割に出荷できなくてお客さんに謝ることの方が多いし…辞めようと思ったこともあったね」と苦笑いする英明さん。しかし、ここ数年でササクレヒトヨタケやコブリースという名前が飲食業界など実需者の中で知名度を上げてきたことや、何より「お客さんの期待に応えられないのはダメだ」という想いから、「とにかくきのこをだすこと」を第一に、改善を重ねます。「きのこを出すためにきのこを勉強しているだけではダメ」と、天気や微生物などの勉強に加えて、別分野：例えばトマトなどの栽培技術を学ぶなど、別の角度から知識を得て、得たことから「仮説」を立て検証。結果を見て考察。うまくいっても、いかなくても、その原因からまた新たな仮説を立てて発生具合をみて考察…と、「柔軟な発想」と改善を積み重ね、就農から8年目、いよいよ期待に応えられる

だけの発生率となる仮説を立てられるようになり、ササクレヒトヨタケ栽培を軌道に乗せることに成功しました。

そんな英明さんは「努力もあるけれど、何だかんだ周りに支えて貰っている部分大きい」と改めて振り返ります。英明さんの「周り」とは現場をはじめ、営業先で出会った人、お客様も…。「経験に比例して、昔よりは分かるようになってきたけれど、まだまだ全部じゃない。俺頭良くないから教えて。って聞くし、営業のコツも周ರಿから学ぶ。本当に周りが居てくれないと、困っちゃうよね、きつと…」と笑顔の英明さんは、周りに感謝しながら、より一層「コブちゃん」の栽培技術の向上、販路拡大に力を注ぎます。



▲A・コープファーマーズ南高野店にも並ぶ「コブリース」

3年間の成果を報告 ～地区懇談会開催～



▲御厨支所管内で行われた地区懇談会(2月13日)



▲藤ノ井支所管内で行われた地区懇談会(2月16日)

J A は、2月7日から3月6日まで、地区ごと153会場で「地区懇談会」を開きました。懇談会では、J A が前期第6次中期3カ年計画として25年度からの取り組み「農・食・くらしをつくる」事業実績について報告。また、28年度のJ A 事業計画や、後期第6次中期3カ年計画によるJ A がめざす方針について説明し、理解を求めました。出席した組合員のみならず、事業計画をはじめ、日頃のJ A 事業・職員について、地域の農業振興方策等について、要望・意見・質問が多数寄せられ、J A 理事、支所長らが回答しました。

懇談会で頂いた要望・意見は、今後のJ A 事業に反映させ、「農家所得の増大」「地域社会への貢献」をめざしたJ A 事業につなげてまいります。多くのみなさまのご出席ならびに、貴重なご意見を頂戴し、誠にありがとうございました。



▲生産者など関係者47人が出席した会場

もも部会川中島共選所支部は川中島町の平成ホールで2月4日、「川中島地区のもも栽培を考える」意見交換会を開きました。これは、「産地維持へ向け、話し合いの場が必要」という生産者の提案をきっかけに初開催。生産者ら3人が問題提起者となり、「もも栽培の将来像と産地維持方策」などを論議に各々の意見を述べ、出席した生産者に意見を求めました。提起者の1人は「今一度原点に戻り、まず地域、生産者が寄り合い、栽培技術を磨き、問題点や意見を出し合うことが必要だ」と提言。また、「名の知れた川中島ブランドを守り、品質向上に努めるべき」との声も高まるなど、もも産地維持への意識を共有した活発な意見交換会となりました。

原点回帰でもも産地維持へ



▲「支え合い、助け合いながら地域づくりをすすめる」と呼びかける保健福祉推進委員長の竹内副会長

J A と行政、若穂地区住民自治協議会で構成する若穂地区保健福祉推進委員会は、長野市若穂支所で2月18日、「第28回若穂地域医療懇談会」を開きました。これは同地区の地域医療や健康について、公開討論を通して地域住民や行政、病院が協力して考えることを目的に、年に1回開いています。今回の討論者は保健センター保健師、市地域包括支援センター所長、長野松代総合病院附属若穂病院院長、地区住民自治協議会事務局次長の4人。「高齢者医療・介護」をテーマに、「介護予防」や高齢者医療への取り組み事例を発表し、住民や行政などが連携する「地域包括ケアシステム構築」に向けて、意見を交換しました。

若穂地区の医療を考える

“女性のパワー”で農業活性化～2部会で女性対象研修会開催～

りんご部会女性研修会

りんご部会は、篠ノ井のグリーンパレスで2月1日、りんご栽培に携わる女性を対象にした女性研修会を開き、60人が参加しました。年一回の恒例行事として今年も、参加者の女性が「生産者」であると同時に、家庭の食や財布を預かる「消費者視点」を持っていることに着目。市場関係者を講師に、市場や消費者動向、市場の要望を聞く講演会を企画しました。講師は「感性を養うことを大切にする」など「Happy Life」を過ごすための5カ条を発表し、参加者を激励。参加者は「普段の講習会は夫にまかせっきりだったので、初めて参加してみても良い勉強になった」と話しました。



▲講師に質問を寄せる参加者

花き部会女性研修会



▲パドルを使って張り切って体を動かす参加者

花き部会は、千曲市の温泉施設で2月12日、「健康増進！今年も花づくりを頑張ろう」をテーマに女性研修会を開きました。研修会は、昨年も行い好評を博した「パドル体操」を企画。参加者20人は、NPO法人パドルジャークス体操協会指導士に習い、しゃもじ型の体操補助具を使って、リズムに合わせて全身を動かしました。講師は、日頃の農作業で凝り固まった腕や足腰の筋肉をほぐす体操や、「脳トレーニング」も伝授。参加者は「曲がった腰も伸びて身体も少し柔らかくなった」と話しました。

安全使用を！農機を学ぶ

定年帰農者や女性生産者を対象に農業の基礎を指導する「グリーン農業講座」を2月13日、篠ノ井のグリーンパレスで開催しました。今回は、農作業の効率向上をもたらす、高齢化にも対応する「農業機械」がテーマ。47人が参加し、JA農業機械センター職員から、安全使用のための注意点を始め、故障の原因、点検時の確認ポイントを学びました。また、農業機械メーカーを講師に、「農業機械の最新情報」として最新型農業機械の機能の紹介を受けました。会場には機械作業に必要な防護具なども展示され、受講生は機械の安全使用へ意識を高めました。



▲故障の原因につながる操作などを確認する参加者

手づくりの楽しさを感じる



▲協力員に習いながら豆腐を型にうつす子ども

JA管内の小学生親子が参加する「親子ふれあい農業塾」を2月13日、篠ノ井の東福寺公民館で開催しました。今年度最後の実習となる今回は、塾を通じて栽培した大豆を使った「豆腐づくり」に挑戦しました。JA生活指導員と協力員が講師を務め、1家庭1丁分の豆腐を作りました。子どもたちは「頑張った作った大豆で豆腐を作れるのは嬉しい」と、率先して作業をすすめ、味よし・形よしの木綿豆腐を作りあげました。保護者は「自分自身も豆腐づくりは初めて。改めて手づくりの楽しさや大切さを感じる機会になった」と話しました。

福はうち！豆まきに1500人来場！



▲「こっちへ投げて！」との声と歓声があふれる会場(アグリ南長野)



▲笑いよく福を投げる土橋アンバサダー(アグリしののめ)



▲福をつかもうと手をのばす会場(アグリまつしろ)

A・コープ店や隣接店舗から成るアグリ3施設は「節分」に合わせて2月3日、「豆まき大会」を開きました。毎年恒例の人気行事として、盛大に開催。来場客は3会場合わせて1500人以上を記録しました。JA役員らが豆まき役を務めたほか、昨年に引き続き、長野市を拠点に活躍するサッカーチームAC長野パルセイロの土橋宏由樹アンバサダーや大橋良隆元選手も参加。JAの滝沢常務は、「たくさん福を持ち帰っていただき、幸せな一年を過ごしていただきたい」との思いを込めて豆や菓子などを力いっぱい投げつけていました。

JAは、1月より放映が始まった大河ドラマ「真田丸」にあわせ、JA産農産物のPRや、真田ゆかりの地である松代地区を拠点としたJA管内の活性化を目的に、さまざまな企画をすすめています。この一つとして2月15日、各JA施設に「歴史が育む美味しい農産物」というのぼり旗を立て、この地を訪れた県内外の観光客に向けて、JA産の農産物のPR強化をはかりました。

また、A・コープ松代店や篠ノ井のJA本所には「松代甲冑隊」の提供による「甲冑」を展示。来店客を楽しませ、松代地区の活性化に一役買っています。



▲甲冑とのぼり旗でPR強化(A・コープ松代店内)

大河ドラマとともに管内盛り上げる



▲試食品に質問や感想を寄せる来店客

直売イベント大盛況

A・コープファーマーズ南長野店「グリーンスマイル」で2月7日、JA長野県農産物直売所イベント「JAさんさん産直の日」を開きました。農産物加工品を販売する直売会員17組が参加し、試食宣伝販売をしました。生産者の一人は「今日は買ってもらうことよりも、味を知ってもらうことが大切」と話し、来店客にたっぷり試食をすすめていました。また、6日には「グリーンコネクト協定」を結ぶグリーン近江の農産物直売所。きてかくなの出張販売が行われ、近江産野菜を購入に訪れた客でにぎわいました。

年金友の会連絡協議会と女性部は稲里町のグリーンホールミナミで2月2日、「新春さすな寄席」を開きました。この寄席は、年金友の会活動の中でも特に人気のある企画。「初笑いで春よ来い 福も来い」をテーマに、県内のアマチュア落語家4人がプロさながらの巧みな「口演」を披露。定員を上回る250人の観客が集う会場は、笑いの渦に包まれました。初めて寄席に訪れ、最前列で観覧した夫婦は「本当に楽しく、かぶりつきで聞いた甲斐があった。この笑いを元気に変えて、1年楽しく過ごしたい」と笑顔で話しました。



▲笑い声があふれる会場



▲「ご利用ありがとうございます」と笑顔で伝える支所職員(寺尾支所)

窓口に感謝を伝える

JA管内20支所の窓口で2月15日、「来店感謝デー」を開きました。これは2カ月に一度の年金支給日にあわせて行い、旬の農産物や農産物加工品を贈呈しながら、日頃の支所利用に感謝を伝える企画。27年度は6回企画し、今回は年度最後の開催となりました。各支所では「えのきたけ」「ぶなしめじ」「レタス」を用意。来店客に心をこめて感謝を伝えるとともに、2月1日から始まった女性限定特典付き定期積金・定期貯金「ゆめこまち」などのお得な商品も薦めながら、農産物をお渡ししました。

フォトコン 12作品優賞へ

JAは、篠ノ井のグリーンパレスで2月4日、「第4回フォトコンテスト審査会」を開きました。コンテストでは、JA管内四季折々の「農」「食」「くらし」を写した作品を募集。今回は24人から99作品が集まりました。審査会では、神農専務、全日本写真連盟委員などが審査員を務め、厳正に審査し、12作品への褒賞授与を決定。最優秀賞には、井出利久さんの作品「玉ねぎの収穫」が輝きました。審査員は「甲乙つけがたい素晴らしい作品が集まり、全体のレベルも年々上がってきている」と総評しました。褒賞作品は今月号のエバグリーンより、順次表紙を飾る予定です。



▲厳正に審査をすすめる審査員

季節は春。永年勤め上げた会社を退職し、
新たな人生のスタートを切るみなさまもいらっしゃるでしょう。
この時期、「定年を機に本格的に農業を始めたい」
“いずれ継ぐ予定”とJAに相談にお見えになる方もいらっしゃいます。
そこで今月号は、ぜひ挑戦していただきたい
*定年農業。を特集します。

始めよう！ 定年農業

JAの使命「農業振興」

日本の農業が抱える問題といえは「高齢化」「後継者不足」「耕作放棄地の増加」と言われています。

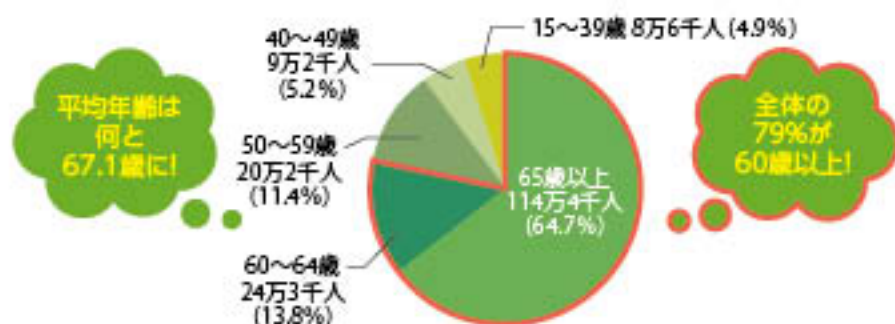
JAは、農業が抱える問題に決して負けることなく、「農業生産力を高める」こと「農業所得を向上させる」こと、そして、「地域の農業を発展させる」ことが重要な使命。さらにそれに限らず、「農業」がわたしたちの「食」や「くらし」にもたらす恩恵を広く次世代に伝えるためにも、「農業振興」に力を入れています。

注目！定年帰農

JAの使命「農業振興」のひとつとして、農業の「担い手」の支援に取り組んでいます。「担い手」と聞くと、とかく若手に注目が集まりますが、「2015年農林業センサス結果（図1）」によると、農業従事者数は60歳以上が占めています。これは、農業者の高齢化のほか、定年で退職した方が、定年を機に新たな人生として本格的に農業を始める「定年帰農者」が増えていることが理由のひとつと言えるでしょう。そこでJAでは、青年就農者支援はもちろんのこと、定年農業に挑戦する組合員・地域の「定年帰農者」みなさまの厚いサポートにも取り組んでいます。

※1 定年帰農：農村出身者が定年退職後に故郷の農村に戻り、農業に従事すること。
※2 出身を問わず定年退職者が農村に移住し農業に従事することを含む。

図1 年齢別基幹的農業従事者数^{※2}の構成(全国)【基幹的農業従事者数:176万8千人】



出典:「2015年農林業センサス結果の概要(概数値)(平成27年2月1日現在)」(農林水産省統計)より加工して作成

※2 基幹的農業従事者…農業に主として従事した世帯員(農業就業人口)のうち、調査期日前1年間のふだんの主な状態が「仕事に従事していた者」のこと。

農業の栽培技術指導・経営相談に応じてきた
*営農技術員、がすすめる!!

定年後に農業をはじめめるメリット

- 一、永年のお勤めにより、金銭面が整っており、経営基盤が安定した状態でスタートできる
- 一、設備や施設、土地など農業基盤がある、または整いやすい状況でスタートできる
- 一、農作業(仕事)があることで、定年後のライフスタイルの確立、安定につながる
- 一、人との関わり(付き合い)や仕事への心がまえなど永年培ってきた*人生経験、を生かして働ける

なにより新たな人生の
生きがいや健康的な生活に
つながることが
大きなメリットです!



営農課次長 鶴田

私も定年で農業はじめました!~先輩の声~

JAの生産部会に入り、農業も盛り上げるみなさまの中にも、定年して農業に入られた方がたくさんいらっしゃいます。そんな定年帰農の“先輩”に「農業」への思いをお話していただきました。

農業を通じて
“人と人の
つながり、を
得られるんだ。”



桑原 勝廣さん(73)

「農業は手をかけることが大切だ」と話す桑原さん。兼業農家だったことから、定年前は近所の助けを借りて農地を維持。「定年後にいざ始めた時はほとんど技術なんて分らず、5~6年は大変だったよ」と笑う桑原さんは、農家の先輩にアドバイスを貰うほか、JAの講習会に欠かさず出ることで、知識や技術を習得。「本当に周りに応援してもらって…恵まれているんだ」と感謝しながら、妻と農業を楽しんでいます。

桑原さんは、講習会などに参加していく中で、地域など多くの人と「馴染み」になれたそう。「農業は意欲を持って“外”に出ていくことが大切。外で働けることや人とのつながることは農業の大きな魅力だよ」と“生きがい”としての定年農業をすすめています。

プロフィール

- 住まい: 津ノ井御栗川
- 品: 目・りんご・白家用野菜
- 定年・就農: 60歳
- 前職: 鉄道会社
- 所属部会: りんご部会
(りんご部会 津ノ井支部長)

農業は…
“喜び、だね。”



矢島 憲夫さん(75)

昔から父親の畑を手伝い、「親の残してくれた農地を守りたい」という想いで定年帰農した矢島さん。定年前は農林業に関わる統計を取る仕事に就いていたこともあり、農家減少や耕作放棄の増加、特に「国内生産力(食料自給率)の低下」に危機意識を持っていたそう。「地域の農業を守り日本の農業を守る」という思いや、「安全・安心・新鮮・おいしい農産物を消費者に提供する」という心がまえで妻と農業に励んでいます。

栽培技術や知識を持っていたという矢島さんは、JAや地域の人と積極的に情報・技術の共有をはかり、日々技術を磨いています。「JA等の指導に受けながら、ぜひ農業に参入してもらえれば嬉しい」と定年帰農の先輩として、エールを送ります。

プロフィール

- 住まい: 津ノ井東福寺
- 品: 目もも・水稲・直売野菜
- 定年・就農: 60歳
- 前職: 公務員
- 所属部会: 直売会 ほか(現直売会長)

農業は
健康が
第一だね。



安藤 周三さん(68)

早期定年を選択し、54歳で農業を始めた安藤さん。定年前は土日農業に励み、退職の2年前から地域の先輩に技術を習って本格的に準備をします。就農後は「やってみて分かることが多く、難しかった」といいますが、「手をかけた分だけ答えてくれる」と面白さを実感。経験を重ねる中、「作業効率」等をふまえ、りんご栽培からぶどう中心の栽培に転換し、おいしいぶどうづくりに励んでいます。

そんな安藤さんは、共に農業に取り組む「妻」と力を合わせることで、「2人“以上”の力を発揮できているそう。「女性の力は大きいね」と妻への感謝とともに、農業は「健康第一」で、身体が資本であることを痛感したといいます。「農業という“仕事”があることは、健康にも精神的にも本当に良いよ」と改めて定年農業の魅力を話します。

プロフィール

- 住まい: 若狭津内
- 品: 目・ぶどう、ブルーベリー、りんご、水稲
- 定年・就農: 54歳
- 前職: 通信会社
- 所属部会: ぶどう部会 ほか
(ぶどう部会 若狭支部長)

農業に必要なモノ・コト

栽培技術

「おいしい」「売れる」作物づくりには、時期ごと、気候に合わせた柔軟な栽培技術や知識が必要。



営農指導員 松沢

JAのサポート体制

栽培技術講習

【営農技術員による個別・戸別指導】

注目

- 営農技術員が、ほ場に出向き、個人・戸別の要望・実情に合わせた的確に指導。



【品目別 栽培講習会】

- 果樹・野菜・花き・水稲の各品目ごと、栽培講習会を各地区で年間900回以上開催。

【グリーン農業講座】

- 品目ごとの栽培技術のほか、農業機械や産地認定申請などに農業に関わる幅広い「初心者向け」の内容を講義!

※28年度グリーン農業講座は今月号17ページをご覧ください

【果樹セミナー】

注目

- 品目をしぼって、栽培技術から作業の意味や用語まで基礎を重点指導!
- 薩ノ井果樹セミナー(りんご・もも) … 西部青果物流通センター
- 川中島果樹セミナー(もも・ブルーベリー) … 川中島共選所
- グリーンセミナー(ぶどう) … 松代農業総合センター
- 更北農業塾(りんご・もも) … 真島フルーツセンター
- 若穂セミナー(りんご・もも) … 若穂果実流通センター

※28年度果樹セミナーは各センター・共選所にお問い合わせください

農業に必要なモノ・コト

農地

農地は一般的な土地とは扱いが違う。農地の売買や賃借は、農業委員会の許可を受けて当事者間でのやり取りが必要となる。



JAのサポート体制

各種相談窓口への的確にご案内

- 農地は活用によって相談機関が異なるため、JAでは対象事業に合わせた的確に各窓口へご案内!

農業に必要なモノ・コト

作付・営農計画

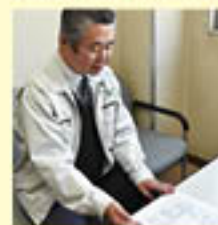
農業経営が成り立つ品種構成や、風土に合った栽培モデル、計画が必要。



農業指導員 石坂

JAのサポート体制

栽培品目の紹介 栽培モデルの提案



- 地域の特性に合わせて、作業効率・収入アップにつながる構成モデル、5年先・10年先を見据えた営農計画のプランを提案!

農業に必要なモノ・コト

販路

農業で生計を立てるためには、作った農作物の売り先が必要。



販売課 寺島

JAのサポート体制

共選・共販による市場出荷 有利販売

- 農業者が生産した農作物をJAが集荷し、共同販売。農産物の数量・品質がまとまり、市場に対応した「有利販売」へ
- 「グリーン長野ブランド」として、確かな信頼・安全・安心な農産物として販売

農産物直売所の運営

- JA運営の直売所では、生産者自らが価格を設定することができ、少量、共選では規格に満たないものも販売できる



【参考引用】 ●イカロス出版(2013)、「いまこそ農業 最新版」 ●JA全中(2015)、「世界と日本の食料・農業・農村に関するファクトブック2015」

●農林水産省、「2015年農林業センサス結果の概要(概数値)」(平成27年2月1日現在)。

<http://www.maff.go.jp/j/toket/census/afc/2015/pdf/census_20151127.pdf> (参照2016.2.8)

JA活用ではじめよう定年農業!

「農業を始めたいけれど、どんなものが必要??」また、「JAはどんなサポートをしてくれるの?」などが気になるところ!!

ここでは、**農業に必要なモノ・コト** に合わせて、**JAのサポート体制**を営農部職員がご紹介します。

農業に必要なモノ・コト

資金



農業には、農地や各種農業資材、軽トラックなどの「初期投資」、種代、苗代、農薬代などの「運転資金」が必要。
また、果樹は、苗木を植えてから収穫までに「期間」が要することや経営が軌道に乗るまでに数年かかることを想定することも大切。

JAのサポート体制

農業融資

- 農業者向けの各種ローンを低利や金利優遇等で提供し、施設取得や整備、長期運転資金確保に幅広く対応
- 日本政策金融公庫農林水産事業の無利子の資金「農業改良資金」等の窓口としても機能



注目

農業開発積立金

- 生産者の農業生産費用を軽減し、生産者手取りの確保を実現するための「JA独自」の助成制度

【農業開発積立金申請の流れ】

- ① **どんなものが対象かを確認!**
お気軽に営農技術員や営農部にお声掛けを!(部会報や地区懇談会資料等でも対象事業・品目等をご案内)
- ② **申請・審査**
JA指定の申請計画書類に記入。見積書、経営計画書等を各種資料提出後、JA理事会で審査決定
- ③ **作業・報告**
計画に基づき、作業など進行。報告書の記入、各種書類を提出。終了後、助成へ

農業に必要なモノ・コト

軽トラック 農業機械 農業資材



農作業に欠かせない足として「軽トラック」が必要。
また、品目・規模、作業効率にあわせ「農業機械」、「農業資材」が必要。

JAのサポート体制

自動車・農業機械 トータルサポート

- 軽トラック、トラクターや田植え機など、幅広いメーカーの農業機械を安心価格で販売から整備までサポート
- 総合展示会や中古農機展示販売会等も開催

年間特別割引・セール

- 肥料農薬等、年間予約による特別割引
JAファーム店や農業資材センターの特別価格セールで費用軽減

補助事業をご案内

- 行政による補助(助成)事業について、JAがご相談を承り、各種補助事業を紹介。また申請の窓口を担当



営農指導課 菅澤

営農技術員が
ご案内、サポートさせていただきますので、
お任せください!

最後に

農業を*やりたい。
その熱い想いを
JAは
全力でサポート
します!



安藤 部長

農業全般に関するお問い合わせ
営農部 TEL.292-0930
または営農技術員まで

農業に必要なモノ・コト

簿記・申告

就農=「個人事業主」となること。数字を扱って、各種申告手続きが必要に。

JAのサポート体制

Web農業簿記でサポート

- 「JA長野県らくらくWeb農業簿記」の利用促進により、記帳・決算・申告が簡単に。パソコンが苦手でも、JAが個別指導に対応

確定申告セミナーを開催

- 税理士によるJA独自の確定申告セミナーで「青色申告」に向けた書類作成ポイントを伝授

主役はアナタ!!

主役はアナタ!!ページでは
女性部・青壮年部など組合員組織中心に
活動の様子をお伝えしています!!



▲助け合い汁でもてなす会員

女性部若穂総支部の歴代役員を務めた同総支部元役員らは、20年以上前から代々「若穂助け合いの会」を組織し、地域貢献活動を行っています。同総支部員も賛助会員として、福祉施設での清掃ボランティア活動などに参加し、会や地域の活性化に一役買っています。同会は若穂地区の公民館で2月25日、年に1回の企画「お茶のみサロン」を開きました。サロンには、地域の高齢者を招待、手づくり料理「助け合い汁」の振る舞いや、コーラスグループなどの発表、交流会で、地域の大先輩をもてなしました。



地域の先輩を招待し「お茶のみサロン」 女性部若穂総支部



▲奇麗品とともに記念撮影する関係者

篠ノ井総支部では、地域貢献活動として、篠ノ井総合病院ボランティアや、JA祭の収益金の一部を使った寄付を長年続けています。27年度は「車椅子3台」と「シルバーカー1台」を寄贈しました。これに合わせて2月23日に開いた寄贈式には正副総支部長が代表で出席し、木村兼院長へ目録を手渡ししました。木村院長は謝意を示すとともに「病院利用者さんのお役にたてるよう使いたい」と話しました。また、総支部員のボランティア活動「衛生用品づくり」で完成した品物も共に贈りました。



医療に役立てて…車椅子を贈呈 女性部篠ノ井総支部



▲やしょうまに味を付ける受講生

JA女性カレッジは、若穂ふれあいセンターで2月24日、「やしょうまづくり」に挑戦しました。午前と午後の2部に分かれて計48人が参加。「郷土の味」具材いろいろ、味で楽しむ「やしょうま」をテーマに長野県北部地域を中心に昔から作られている郷土食「やしょうま」のつくり方や米粉の活用術を学ぶとともに、黒豆やごま、青のりなどを入れてアレンジしたやしょうまの味を楽しみました。受講生は、「ゆでた黒豆をつぶさないように生地に練り込むのが難しかった。どんな味が食べるのが楽しみ」と話しました。



アレンジした味わいの郷土食を楽しもう JA女性カレッジ



▲「ぜひ地域を盛り上げていこう」と集まる会場

青壮年部は篠ノ井のグリーンパレスで2月17日、「篠ノ井総合病院との交流会」を開きました。「地域を共に盛り上げていこう」と企画し、青壮年部や篠ノ井総合病院の看護士など若手職員あわせて95人が参加。青壮年部員が提供した野菜を使った鍋料理や、病院栄養士がその野菜でつくった創作デザートを囲みながら、仕事内容、趣味についての話題で、会話を弾ませました。また、青壮年部盟友によるマジックショーや、りんごや農産物加工品を賞品にしたビンゴゲームなども開催。参加者の女性は「おいしい食事、農家のみなさんの話も楽しかった」と笑顔で話しました。



青壮年部員と病院職員の交流で地域活性化をめざす 青壮年部

地元食材を使った

地産地消 82



- 【材料 10個分】
- A
- 強力粉 300g
 - 砂糖 25g
 - イースト 3g
 - 塩 3g
 - 水 180cc
 - バター 10g
 - 打ち粉 適量
 - 具(何でも可) 適量

「フライパンで! 簡単パン」



1 ボウルにAを入れ、水を少しずつ加えながらこねる。こねながら空気を抜き、粉っぽさがなくなったら、ラップで包んで10分程度寝かせる。

2 1を10等分にして丸め、平らに伸ばしたら、好みの具をのせて包む。生地がやわらかい場合は打ち粉を付けながらまとめる。

3 フライパンにバターを落とす、中火にかけて2を並べ、焦げ目がついたら裏返し、ふたをして蒸し焼きにする。



お料理
メモ

女性部 松代地区支部のみなさん

- 簡単にできる、見た目はまるでおやきのようなパン。お子さまのおやつにピッタリです。
- 具はあんこやカレー、みそ漬、しょうまいなど何でもOKです! (今回は長芋あん、みそ漬を入れました)
- 冷めると固くなるので、温かいうちに食べると良いですよ。(冷めたら電子レンジやトーストで温めてください)

アナタも参加!!
JA生活文化教室
～参加者新規募集～

春といえば、新しいことをはじめるにはピッタリな季節です。JAでは、地域のみなさまに向けて“JA生活文化教室”を開いています。見学もちろんOKです!お申し込みは福祉組合員課まで!お気軽にお問い合わせ・ご参加ください!



教室名	開講日	開講時間	開講場所	受講料	講師
アメリカン フラワー	第2水曜日(月1回) 初回4月13日	13時30分 ～ 15時30分	川中島 ふれあいセンター (JA中津支所敷地内)	1回1,200円	西條伊津子 西條良伊子
ヨガ	第1火曜日(月1～2回) 初回4月5日			1回200円	岡村 瞳子
絵手紙	月曜日(月1～2回) 初回4月4日			1回500円	石井 恵
かごバッグ	第2・4木曜日(月1～2回) 初回4月14日			1回200円	若林 哲子
茶道 (奥田流)	火曜日(月2～3回) 初回4月5日	9時30分～ 12時	グリーンパレス (JA本所)	月2,000円	小山 菊子

その他 *受講料のほか、別途入会金1,500円がかかります。
*受講料に材料費は含みませんので、予めご了承ください。

お問い合わせ・申込み 総務企画部 福祉組合員課 Tel.293-2061

グリーンコネクトからこんにちは!

グリーンコネクト協定先3JAからキラリと光る話題をお届けします!

今年70歳、早いもので退職後5年を迎えます。やっと最近家に居ることに慣れました。今年こそ10アールと少ないですが、農業に本格的に取り組みたいです。

(篠ノ井 田中さん)

●お勤めしていたころよりも、ゆったりと過ごせていらっしゃるでしょうか?

本格農業ぜひ頑張ってください!応援しております!

毎日のみそ汁には必ずえのきたけが入っています。大好きなえのきたけが直売所で大袋で買えるので楽しみに買い物きます。

(篠ノ井 てまりさん)

●直売所のご利用ありがとうございます!これからもグリーン長野産えのきたけをたくさん召し上がってくださいね!

Green Spot人2月号の榎本さんの笑顔がステキでした。頑張ってください。りんごは私にとりフルーツの王様です。長野に生まれ育ち、おいしくて安いりんごをいただける事に感謝しております。

(川中島 坂口さん)

●本当に長野のりんごはおいしいですね!私も、生産者みなさまに感謝感謝です。

エバーグリーン2月号に「グリーンカフェ」の開設記事がありました。私は65歳。もう65歳はまだ65歳なのか、これからの心の持ちようで決まりますね。

(川中島 アシストさん)

●心の持ちよう…何においても本当にその通りだと思わずうなずいてしまいました!グリーンカフェ、ぜひお越しくださいね!

子どもたちが社会人や大学生になり、子育ても一段落し、私も妻も勤めながら土・日曜日にりんごや野菜作りに励んでいます。最近は新鮮な農産物を子どもたちに食べてもらうのが生きがいです!!

(篠ノ井 仁28号さん)

●土日の農作業お疲れ様です!ステキな生きがいですね!ぜひ、これからもおいしい農産物を育て、お子さまに届けてあげてくださいね!

今は栗樹のせん定時期。せん定をやる人も亡くなったり少なくなっているの女性も頑張らなければなりません。専門のおじさんたちより上手ではないですが、四苦八苦しながらやっております。

(篠ノ井 富士娘さん)

●せん定作業お疲れ様です!農業にはまさに「女性パワー」あってこそです。女性には大変な面も多いかと思いますが、ぜひこれからも女性パワーを発揮して頑張ってくださいね!応援しております!

近江

農家組合員の所得増大へ全農しがとグリーン近江が初会合



▲プロジェクトに向けあひまつる森本常務

グリーン近江は、農家組合員の所得増大をめざして「全農しが」と一体となって取り組む「農家組合員の所得増大プロジェクト」を設け、このほど、同JAで第1回の会議を開催しました。

全農しが担当職員とTAC職員からなる推進班を設け、「土壌に応じたオーダーメイドBB肥料の推進による安定した収量・品質の確保」「超大型規格農薬商品の充実と普及拡大によるトータルコスト低減」「飼料用米専用肥料の提案による多収・省力・低コスト生産の実現」等の取り組みについて方針を示しました。森本長一営農経済担当常務が「担い手が実感できる所得増大の実現に向け、取り組みをすすめたい」と力説しました。

鹿児島

「子ども110番の家」として地域を見守る



▲支店職員がのぼりとポスターで110番の家PR

グリーン鹿児島福平支店は、緊急避難場所「子ども110番の家」として鹿児島南警察署から委嘱状の交付を受けました。校区内には「子ども110番の家」が少なく、子ども達が危険に遭遇した時に安心して駆けこめる施設として、同支店が加わりました。

支店前の通学路には手作りのポスターやのぼり旗を設置し、職員全員が緊急時の手引きを持ち万が一に備えています。28年度は、当JAの各支店・給油所など全施設を「子ども110番の家」として登録し、地域貢献を拠点とした運営を計画しています。

大阪

大阪エコ農産物申請者が過去最高を更新!

グリーン大阪管内の「大阪エコ農産物」申請者数が、93名(28年1月中申請分)となり、過去最高の申請者数を更新しました。この大阪エコ農産物とは、農薬と化学肥料の使用量を慣行栽培(大阪府下)の5割以下に削減して栽培された農産物。昨年1月の申請者89名(JA単位、大阪府下1位)から4名増加し、申請された農産物は、594品目となりました。

グリーン大阪では、エコ農産物を「健康百菜」と名付けたキャンペーンをスタート。キャンペーン一周年を目前に、目標である100名に近づきました。申請者は、農地に「健康百菜(エコ農産物)」の生産地とわかるように看板を設置して栽培しています。



▲「健康百菜」の生産地を示す看板が設置された畑

日本和紙手法技術さうやく速産に登録明かりが灯る
 青木島 松澤 啓吉
 無農薬野菜みやげに持ちくれし喜寿の友は足腰強し
 小島田 斎藤 由明
 孫たちの会話のレベル高まりて我入る余地なく笑顔で聞きおけり
 小島田 高野 茂子
 保料温泉で筆持たされて声も出ずしみじみと浄心新春来福
 小島田 松井 信子
 庭に遊ぶ幼子つけし靴の跡すべてを埋めて雪降り積もる
 小島田 清水 威子
 朝晩寒さきびしく着だるまに動きにふくてよいこらしよう
 大岡 久保田けさみ
 波々よひいてはよせ来る旅の宿大本山維持寺秋の窓辺より
 大岡 市河 麗子
 ねむりいるふきの命をいただけは護身のわざかやほろにがきける
 下平 番場 道仁

時ならぬライフの乱れ大寒波災いなき地に我感謝のみ
 上布庵 穂苅 勲子
 名も知らぬ新人が次々と登場す歌謡曲の画面虚ろな目で見る
 小島田 宮林 紀子
 青空を独り占めする日向ぼこ
 栗拾えば鐘が鳴るく昼の鐘
 申年のパレンタイムに赤パンツ
 ひな飾り実家の工面を語り出す
 冬の空拍手の嵐マジックショウ
 穴のあく軍手で母は草むしり
 未婚者に見合いどうかと高齢者
 吉原や白い土壁紅い梅
 大岡 久保田 立枯
 西条 智教
 内堀 克子
 真島 大久保 廣道
 今井 高橋 清人
 唐白 五十嵐 立男
 高野 加藤 公男

投稿者の個人情報適切に管理し、JAだよりの文芸掲載に利用させていただきます。
 応募は「1人1作品」をお願いいたします。
 文芸作品応募時のお名前はこの本名でお願いいたします。●応募締切:3月22日(火)



おたより
 ありがとうございます!

腰が痛くて何も作ることはできませんが、JAだよりを毎月楽しみにしております。(川中島 腰痛常子さん)
 ●楽しみにしていただき、ありがとうございます。失礼ながら、ペンネームにクスリと笑ってしまいました。お身体を大事になさってください!

田畑がまだ真っ白な雪でおおわれているのに、ジャガイモの種が売られるようになりました。早いですね。例年男しゃくいもを作っていますが、今年は違う種類にも挑戦してみようかと思えます。(松代 たまちゃんさん)
 ●いろんな種類を作り比べたり、食べ比べたりするとより楽しいですね!挑戦してみてくださいね!

ボカボカ陽気に透われてウォーキング。4月の長野マラソンに向けて練習か、大勢の方が走っていました。私はマラソンは苦手ですが…声で応援しますね!(篠ノ井 金子さん)
 ●暖かい日差しのもと、身体を動かすのは身体にはもちろん、心にも良いですね!地元のみなさまの声がマラソン走者のパワーになると思います!みんなて応援しましょう!

暖冬というが、一昨年、昨年とだいぶ気候が違うが…今年の作物の成長はどうなるのでしょうか?(篠ノ井 竹部さん)
 ●本当に雪の降らない暖かな冬でしたね。作物に悪影響にならないことを切に願っています。

エバーグリーン2月号特集分かりやすかったです。自分の雑活と共によく考えて、選言書など用意したいと思います。(篠ノ井 はりきりオバさん)
 ●参考にさせていただき、ありがとうございます。'縁起でもない'と考える方もいらっしゃるかもしれませんが…元気なうちに、周りの大切な人のためにも考えておくことが大切です。ぜひ考えてみてくださいね。

ククロスワード



- ### ヨコのカギ
- 3月3日は〇〇の節句
 - 見せるために物を並べること
 - マニキュアを塗る場所
 - 脱穀していないイネの実
 - なるどには、この種様が付いています
 - 前人〇〇〇の大記録を打ち立てた
 - チーターやジャガーに似た動物
 - 普通郵便より早く着く〇〇〇郵便
 - 橋の欄干などに付いて、ネギの花の形をした飾り
 - 貝の中で大きくなる美しい玉
 - 朝〇〇 榎木〇〇 道具〇〇
 - 塗料を入れるのに適しています
 - 日本一広い市、高山市がある県



- ### タテのカギ
- 月でウサギがべったんべったん
 - 100分の1は厘、1000分の1は
 - 尺貫法の長さの単位の一つ
 - 畑を耕すとニョロリと出てきます
 - 服を着たり二足歩行したりする生き物
 - 学校を巣立つ生徒を祝う行事
 - 犬も歩けば〇〇に当たる
 - 法隆寺は、聖徳〇〇〇が建立したと伝えられています
 - 気を付けの姿勢から頭を下げつつ腰を折ります
 - ダイコンやゴボウはこの中で育ちます
 - 世界三大珍味の一つ

1月号の当選者
 ○宮川真美恵さん ○岡澤信子さん
 ○丸山ひろみさん ○藤谷和弘さん
 ○川窪武門さん (応募総数775)

①クイズの答え
 ②氏名(ペンネーム)
 〒住所
 年齢
 性別
 電話番号
 ③JA・店舗等へのご意見ご感想
 日誌のでもことごと、ご自由に
 ご記入ください!
 (おたよりコーナーに掲載させていただきます場合もあります)

388-8511
 52
 長野市篠ノ井市街集配
 EverGreen
 クロスワード
 宛先

※レリアウトの都合上、回答欄が小さく、ご不便をおかけしております。何とぞ御容赦いただきますようお願い申し上げます。

応募ハガキの記入方法
 ※応募に際しご記入いただいた個人情報は、本誌編集および当選商品発送以外には使用しません。●応募締切3月31日(木)

家庭菜園 “団粒構造”の土づくり

いよいよ農作業シーズンが始まります！
昨年のおさらいをしながら今年もおいしい野菜を育てましょう！

作物は
まず
土づくり

おいしい農作物づくりへの第一歩は「土づくり」から！次の5つが健康な土の条件です。

- 通気性と水はけ（排水性）がよいこと
- 水もち（保水力）が良いこと
- 栄養分（保肥力）に富むこと
- 酸度が適正であること
- 病原菌や害虫が少ないこと

土づくりをする上でめざすべきは、ズバリ「団粒構造」の土です!!

団粒構造
と
単粒構造

○ 団粒構造とは

- 土の粒が集まった直径数ミリの粒を「団粒」という
- 団粒は、土中の構成物（有機物・無機物）がバランスよく、ほどよく配置されている
- 水はけがよく、水もちがよいという矛盾にも感じる性質を両立している
 - ・一つ一つの団粒内で、土の粒子が密接していることから水分を保つことができる
 - ・団粒同士に細かいすき間があるので、空気がよく通り、フカフカな土ができる
- 団粒構造がすすんでいる土は、有機物と微生物が豊富な「腐植」が多いことから土が黒っぽくなる



× 単粒構造とは

- 土の細かい粒子が集まっている状態を「単粒構造」という
- 細かい粒子がびっしりと詰まっているためすき間がほとんどないため、通気性・排水性が悪く、根腐れの原因となる
- 粒子が細かいため、微生物が少なく、有機物の分解が進まず、土が痩せる
- 空気や水分が少なく、微生物が少ないため、土の色が茶色っぽい



土づくり
実践

- (1) 土を起こす 鍬やスコップで 30cm 程度の深さまで掘り起し、空気を入れる。硬くまとまった土は細かく砕く。



- (2) 石灰を施す 土を農作物の生育に適した酸度に調整するために、石灰（1㎡あたり 100～200g）を目安に施し、よく踏み込む。

石灰は、基本的に種まき植え付けの 10～15 日前に施す（少し早くても良い）

参考:作物別適した土壌酸度(pH)

土壌酸度	作物名
5.3-5.8	ジャガイモ、ブルーベリー、栗、茶 など
5.7-6.2	イチゴ、コマツナ、スイカ、サトイモ、リンゴ、ナシ、モモ、カキ、オウトウ、ソバ、アズキ、タバコ など
6.0-6.7	ブロッコリー、ナス、キュウリ、ネギ、カボチャ、ピーマン、トウモロコシ、ハクサイ、ニンジン、コムギ、ブドウ、アルストロメリア、カーネーション、トルコギキョウ、キク
6.5-7.2	ゴボウ、トマト、ホウレンソウ、インゲン、キャベツ、レタス、エンドウ、タマネギ

- (3) 堆肥を施す 一作ごとに堆肥（1㎡あたり 2kg）を目安に施す。
堆肥は、種まき・植え付けの 1 週間前に施す（少し早くても良い）

土壌診断はJAにおまかせ

JA では土壌診断を有料で承っています。

詳しくは、JA ファーム（楠ノ井・松代）店、各営農資材センター、営農部へお問い合わせください！

■シャクヤク(切り花)栽培者募集

花き部会主力品目の一つ「シャクヤク」の栽培者を募集しています!

株は早期予約がオススメお気軽にご連絡ください!



シャクヤク栽培の特徴

定植時期：10月(露地栽培)

出荷時期：5月～6月

栽培の目安：10アールあたり株数1,000株

10アールあたり切り花収入目標60万円(3年目以降)

オススメポイント：

当JA農業開発事業による助成制度の対象一度植えれば10年以上継続的に切り花ができる! 定年帰納後の収入源に! 個別またはグループ単位の講習もご要望に応じて開きますので、お気軽にご相談ください。

お問い合わせ

営農部 担当 塩野 TEL292-0930

担当(信更・大岡):太田 TEL266-2231(大岡支所)

■定年帰農者・女性農業者・新規農業者向け グリーン農業講座 受講生募集

新たに農業に挑戦する方、農業に興味をお持ちの方を対象に「グリーン農業講座」を開講します! 1年通じて学び、農業知識・技術を身につけましょう!



開 講：4月16日(土)

(月1回、原則土曜日、全11回予定)

内 容：野菜・果樹品目を中心とした栽培講習
・農業に必要な基礎的な栽培、農薬、農業機械の講習
・確定申告(1月頃)
・健康講座(冬期)

会 場：グリーンパレス(篠ノ井布施高田961-2)

※内容によって、現地講習あり

申 込：各支所または営農部に備え付けの申込用紙に必要事項を記入し、ご提出ください

定 員：100名(先着順)

※定員になり次第、締め切ります

お問い合わせ 営農部 TEL292-0930

■活用しよう!経営所得安定対策!

国の制度「経営所得安定対策」の手続きが始まります。水田・畑作を検討し、有効に活用しましょう!

[1]畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策)

対象作物：麦・大豆(黒大豆除く)・そば

交付対象：認定農業者、集落営農、認定新規就農者
(いずれも規模要件は課さない)

交付単価：

麦(60kgあたり) ……1等 6,410円～5,700円
2等 5,250円～4,540円

大豆(60kgあたり) ……1等 12,520円 2等 11,830円
3等 11,150円

特定加工用 10,470円

そば(45kgあたり) ……1等 14,700円 2等 12,590円

[2]米・畑作物の収入減少緩和対策(ナラシ対策)

交付対象：認定農業者、集落営農、認定新規就農者(いずれも規模要件は課さない)

交付要件：当年産の米・麦・大豆の販売収入合計金額が標準的収入(過去の平均収入)を下回った場合に、その差額の9割を対象加入者と国が1:3の割合で提出した金額から補てんされる(国からの交付金は農業者積立金の3倍が上限)

[3]米の直接支払交付金

対象者：米の生産数量目標に従って販売目的で生産(耕作)する農業者

(販売農家、集落営農)

交付単価：10アールあたり7,500円

対象面積：10アールあたりの単価(全国一律)で直接交付

交付対象面積は、主食用の作付面積から一律10アール控除して算出

[4]水田活用の直接支払交付金

交付対象：水田を活用して麦・大豆等の生産を行う販売農家又は集落営農

対象作物・交付単価：(10アールあたりの単価)

麦・大豆・飼料作物 35,000円

WCS用稲 80,000円

加工用米 20,000円

飼料用米・米粉用米 55,000円～105,000円
(収量に応じて)

二毛作助成(麦・大豆・そば) 15,000円

※3～4月にかけて、営農計画書が配布されます。

お問い合わせ 営農部 担当 神戸 TEL292-0930 または各営農資材センター・JAファーム各店へ



28年度農作業お手伝いさん募集

(一社)長野市農業公社では、春・夏の農作業繁忙期に農業支援として農作業をお手伝いしてくれる「農作業お手伝いさん」を募集しています!



作業内容: 脚立を使用した、果樹(りんご・もも)などの摘果、葉摘み、収穫など

募集要件: 自家用車で通勤できる方

賞金: 1時間 810円

申込: 長野市農業公社にお電話にて申込みの上、次のいずれかの事前説明会に必ず出席してください。

- (1)4月7日(木) 9:30~
真島フルーツセンター(真島町真島1451-1)
- (2)4月6日(水) 9:30~
JAながの 長野平フルーツセンター
(長野市大字大町字大曲975)

お問い合わせ (一社)長野市農業公社 ☎227-1650

グリーンカフェ 今月の催し

グリーンカフェでは、65才以上の組合員・地域のみなさまのための介護予防*健康づくり*生きがいづくりのための「楽しい」「ためになる」講座をご用意しています!

【グリーンカフェ】

開設場所: コミュニティプラザ川中島(JA川中島支所内)

開催日: 毎週火曜日

開設時間: 10時~11時 企画タイム
11時~12時 カフェタイム

参加費: 100円(お茶代)

【3月~4月中旬の催し】

3月	15日	足腰元気でケガ知らず! 転倒予防教室
	22日	手先を動かして老化予防を! 折り紙教室
	29日	カフェタイム
4月	5日	ラジオ体操をマスターしよう!
	12日	包括支援センターってなあに?

お問い合わせ 総務企画部福祉組合員課 ☎293-2061

早春の展示会ウィーク開催

今注目の「新型人気車」を中心に、「展示商談会」を開きます!
展示車を見て、さわって、乗りごこちも確認できます!
3月は4日間に渡って開催!
みなさまのご来店をお待ちしております!



開催日: 3月16日(水)・17日(木)・18日(金)・19日(土)

開催時間: 9:00~17:00

開催場所: オートバール篠ノ井センター(篠ノ井御幣川1067-2)

お問い合わせ オートバール篠ノ井センター ☎292-1654

長野市消防局より火災予防のお願い

長野市消防局管内では、昨年138件の火災が発生しました。このうち、たき火が原因の火災が25件発生し、火災原因のトップとなっています。

これからの時期は、畑で剪定枝の焼却が実施されますので、枯草火災防止のため、枝等の焼却の際は、次のことに注意をお願いします。



- 畑での枝の焼却の際は、消火の準備をし、その場を離れないようにしましょう。
- その場を離れるときは、完全消火しましょう。
- 風の強いときは中止し、早朝など風のないときに実施しましょう。

農業機械センター土・日・祝日の営業について

農業機械センターの4月上旬までの土・日・祝日の営業体制は次の通りです。

センター名	月・日	3月						4月				
		12	13	19	20	21	26	27	2	3	9	10
篠ノ井 (Tel.292-1369)		△		△		△		△		△		△
川中島 (Tel.284-1671)			△		△		△		△		△	
松代 (Tel.278-8601)				△			△		△			△
更北 (Tel.283-5043)		△			△			△		△		
若穂 (Tel.282-8025)			△			△					△	
偶田 (Tel.299-2225)		△		△			△		△		△	

△…午前営業 8:30~12:00 空欄…休業日

お問い合わせ 各農業機械センターへ

・篠ノ井・川中島地区は、両農業機械センターのどちらかへお待ちください。

・松代・更北・若穂地区は、3センターのいずれへお待ちください。

・更府・大岡地区は、信田農業機械センターへお待ちください。



農政活動について

2月14日
TPPに関する要請

JAは、農政活動の一つとして、2月14日に篠ノ井のグリーンパレスで開かれた小松ゆたか衆議院議員の国政報告会に出席し、「環太平洋連携協定(TPP)から「食」と「いのち」と「くらし」を守る要請」を行いました。

女性に嬉しい! 「ゆめこまち」取り扱い中!

「女性のための“特典付き”定期積金&定期貯金“ゆめこまち”」を好評取り扱い中です!
くわしくは支所窓口へお問い合わせください!

商品名【愛称】:定期式定期積金【女性のための定期積金「ゆめこまち」】
スーパー定期貯金(単利型・複利型)【女性のための定期貯金「ゆめこまち」】

販売対象:女性(個人)の方

オススメポイント:

- ★長野県下のJA女性職員が「あなたのため」に企画した「女性限定」の貯金商品!
- ★コツコツ貯める【定期積金ゆめこまち】、しっかり貯める【定期貯金「ゆめこまち」】の2種類をご用意!
- ★ご成約の方には「選べるマルチポーチケース」
- ★満期を迎えられた方には「スイーツカタログ」をプレゼント!

お問い合わせ 各支所窓口

大好評!「marché(マルシェ)」 4月1日取り扱いスタート!



「JA農産物直売所クーポン付き定期貯金marché(マルシェ)」の取扱が4月1日より始まります!くわしくは支所窓口へお問い合わせください!

商品名【愛称】:スーパー定期貯金(単利型)【marché(マルシェ)】
取扱期間:4月1日~8月31日

※募集総額200億円に達した時点で取扱終了となります

販売対象:個人の方

オススメポイント:

- ★10万円お預け入れごと「500円分のクーポン券」をプレゼント!
- ★クーポン券は、JA農産物直売所ネットワーク参加直売所と長野県内A・コープ店で使えます!

お問い合わせ 支所窓口

JAと一緒にAC長野パルセイロを応援しよう!

JAは28年度も、長野市篠ノ井を拠点に活躍するサッカーチーム「AC長野パルセイロ」のブロンズスポンサーを務め、農産物を通してチームを応援-PR活動を行います!

ホームゲーム(南長野運動公園総合球技場)では、農産物やJAスタジアムグルメを販売!

ぜひ、会場で、JAスタジアムグルメを楽しみながら、応援しましょう!

ホームゲーム初戦:3月20日(日) 13:00キックオフ

JAブース場所:バックスタンドフォーム自由席のグルメストリート
※今年より、ホームゴール裏自由席のチケットでもグルメストリートへの入場が可能になりました!

オススメグルメ:今回は大人気「さのこ豚汁」を販売!

JAの動き

理事会 2月26日

【協議事項】

- (1) 役員報酬審議会の答申について
- (2) 後期中期3ヵ年計画(案)について
- (3) 平成28年度事業計画(案)について
- (4) 農業開発事業について
- (5) 平成28年度内部監査計画について
- (6) 平成28年度内部統制確立プログラムについて
- (7) 長野県信用農業協同組合連合会への増資について
- (8) 貸付金利率の最高限度及び借の最高限度額並びに同一人に対する信用の供与等の最高限度額決定について
- (9) 諸規程の変更について
- (10) 固定資産の取得について

担当理事会 2月22日

【協議事項】

- (1) 1月末事業現況並びに年度末決算見通しについて
- (2) 後期中期3ヵ年計画(案)について
- (3) 平成28年度事業計画(案)について
- 総務・金融(4) 資産自己査定結果について
- 総務・金融(5) 貸付金利の改定について

生産・経済(4) 農業振興計画(案)について

生産・経済(5) 農業開発事業について

生産・経済(6) 流通センター再整備方針(案)について

生産・経済(7) (株)ジェイエイグリーン事業報告並びに事業計画(案)について

監事会 2月17日

【協議事項】

- (1) 平成28年度監事監査計画書について
- (2) 平成27年度決算監事監査について

コンプライアンス(法令等遵守)の取り組み

リスク対応会議 2月1日、8日、15日、22日、29日

- ・コンプライアンスの取り組み状況の報告
- ・今後の課題等について検討

一般職員コンプライアンス研修会 2月16日、18日

- ・個人情報保護・情報セキュリティ対策について
- ・反社会的勢力への対応について
- ・交通事故の危険予測について

内部統制確立委員会 2月26日

- ・内部統制確立プログラム(27年5月~10月)の評価報告
- ・同プログラムの取り組み(27年11月~28年1月)について報告
- ・27年8月~28年1月の「自主検査」等の取り組み状況を審議

コンプライアンス委員会 2月26日

- ・28年度連続職場離職実施方針(案)について
- ・28年度自主検査実施計画(案)について
- ・28年度コンプライアンス・プログラム(案)について
- ・相談・苦情対応について

今月の食



かい割れダイコンは、ダイコンの種子を発芽させて数日後に食するもので、スプラウトと呼ばれる新芽野菜の一つです。葉の形が、貝が割れているように見えることから「貝割れ」ダイコンと呼ばれるようになったそうです。この発芽した直後に食べるスプラウトには栄養が凝縮されています。

発芽直後の野菜は水分を含み、今後育つためのエネルギーをつくるため、ビタミンやミネラル

など、種子には含まれなかった栄養を自らの力で合成しています。

スプラウトは酵素も多く含まれます。ダイコンには炭水化物の消化を助けるアミラーゼや、タンパク質を分解するプロテアーゼ、脂肪の分解を助けるリパーゼなど、消化吸収を助ける酵素が含まれています。この酵素は、芽の状態のかい割れダイコンには多く含まれます。また、この酵素は熱に弱いので、ダイコンでは調理すると失われてしまいますが、かい割れダイコンは主に生で食べるので、酵素をそのまま摂取することができます。胃腸の調子を整えたいときに効果的といえます。

もう一つ、メラトニンという物質も含まれています。これは睡眠を促す作用があることが分かっており、体内時計を整えて深い睡眠へと導く手助けをしてくれます。メラトニンは自然と体内で作られるものですが、年齢とともに減少していくため、年を重ねると睡眠が浅くなっていくことがあります。微量ながらも食品からも補うことで安眠の手助けをしてくれるかもしれません。

かい割れダイコン

かい割れダイコンとミニトマトの煮びたし

●材料(2人分)

- かい割れダイコン…… 2パック(140g)
ミニトマト…………… 2個
削りかつお…………… 1パック(3g)
A 酒…………… 小さじ1
しょうゆ…………… 小さじ1

●作り方

- 1 かい割れダイコンは根を切り落とし、長さを半分に切ります。ミニトマトは4つに切ります。
- 2 耐熱容器に 1 と削りかつおを入れます。Aを掛けてラップをし、電子レンジ(500W)で約1分30秒加熱します。全体を混ぜて、味をなじませます。



●「今月の食」は今月号にて終了いたします。



■発行/グリーン長野農業協同組合 長野市篠井市篠原田961-2 TEL.026(293)2000(代) ■印刷/PO印刷(株)

R70

台紙配合率70%以上の再生紙を使用しています



葬儀に関することなら 299-7070 278-8644
365日24時間体制で対応 283-2048 267-0747



夜間/休日 事故発生! 0120-258-931
●土・日・休日(曜日)電話受付
●受付時間/午後5時~午前9時